

博士課程教育リーディングプログラム 平成26年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
申請大学名	慶應義塾大学	申請大学長名	清家 篤
申請類型	複合領域型（環境）	プログラム責任者名	真壁 利明
整理番号	B04	プログラムコーディネーター名	清木 康
プログラム名	グローバル環境システムリーダープログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムは、実世界の環境である“実環境空間”を監視・制御するハードウェア技術と、環境変化の原因・影響を計量する“情報環境空間”を連結・連動させる技術と社会ルールにより、グローバルな環境変化を発見、分析、対応するグローバル環境システムを創出できる人材育成を目的とし、環境、エネルギー、ICT、政策、国際関係、社会システムの各専門領域を統合し、全学的国際化体制の下でグローバル環境システムの実現を先導する未来社会創造型のリーダーの育成拠点を形成するものである。そのために、本プログラムは、国際的な高水準大学・研究機関、および、環境問題を抱える地域の国際的大学・研究機関との、遠隔と対面との融合による国際トレーニング科目として、国際フィールドワーク科目、および、実践的インターンシップ科目を設定し、研究教育指導を一貫して行う国際産・学・NPO連携研究指導体制を確立する。

2. プログラムの進捗状況

平成26年度までのプログラム進捗状況として、合計37名（修士22名、博士15名）の学生を受け入れ、本プログラムの取組として、国際産・学・NPO連携研究指導体制による、国際トレーニング制度、Research Assistantとしての経済的支援を推進している。本プログラムの中心となる指導体制である国際産・学・NPO連携研究指導体制では、連携機関および複数の提携機関の研究者23名を学外研究指導者（国際機関1名、海外企業1名、国内企業1名、海外NPO 1名、海外研究機関3名、海外大学16名）とした教育・研究を実現している。国際トレーニング制度として、国際的高水準の学修・研究指導の連携先機関、および、実際の環境問題を抱える地域の連携機関との連携・提携を推進し、海外10か国21機関、国内5機関とのMOUを締結し、これらの機関からの学生の受け入れ、および、慶應からの学生派遣を行い、双方向、かつ、継続的な共同教育・研究を実現することにより、延べ27名の学生が国際トレーニングを実施した。グローバル環境システムリーダー育成のためのカリキュラム作成としては、本プログラムが目標とする4種類のリーダー像に対応する4科目（大規模環境システム構築法、グローバル環境政策特論、環境技術政策特論、環境情報システム構築法）を実施した。